

医師の
検証コメント
つき

一般社団法人 横浜市私立保育園こども園園長会

保育園・こども園の 感染予防対策



はじめに



各園の感染予防対策におきましては、それぞれの園の判断に基づき行っているところですが、この度、横浜市の医師2名に現場を検証していただき、保育士の負担と子どもたちの健やかな成長を踏まえた上で、再度、感染予防対策を検討することといたしました。

つきましては、以下に一例をお見せしながら、医師の方々から寄せられたコメントを記載し、各園がその情報を元に、取り入れられる対策や割愛出来るものを検討していただければ幸いです。



1. 職員

出勤時の検温



正確な体温を計るため、サーマルカメラは出来るだけ園内におきます。
人が近寄る必要がないので不安を感じることはありません。

出勤後の手指消毒



手洗い・うがい



トイレ内感染予防用品



職員出勤後はすぐに手洗い、うがい、手指消毒を実施。
ウィルスを園内に持ち込まないという意識が大切です。

医師からのコメント

入室時、マスクの交換を行なっている園もありますが、ご自宅からもってきたものであっても、鼻と口がしっかりと覆えるものであれば、交換は必須ではありません。



トイレル内 注意書き



トイレは蓋をして流すことはウィルス性胃腸炎などの感染症予防には効果的です。
レバーやドアノブの消毒も効果があります。
共有するものは基本的に全て使用後使用前に消毒を行います。

来訪者用スリッパ



スリッパには使い捨てのシューズカバーを使用します。
スリッパは使用后消毒し干してからまた使用します。

昼食休憩

✘ 悪い例



食事中はマスクを外すため、対面で座りません。

○ 良い例



対角線上に座ることでリスクを軽減できます。食事中の会話は控え、その分マスクをしている際にコミュニケーションをしっかりとりましょう。

事務作業



マスクをし、会話をせず、対角線上に座っていることで感染リスクが抑えられます。
この場合はパーティションがなくても問題はありません。

医師からのコメント

必要な対策をとれている場所では、消毒するものを減らし、労力を減らすことも感染予防策を継続できる大事なポイントです。





2.園児

受け入れ時 検温確認



乳児は、サーマルカメラでの検温が難しいため、体温計や非接触型体温計を使用します。
マスク、ビニール手袋、十分な距離を保っての会話が必要です。
この写真は感染予防対策として十分な対応ができています。

幼児の検温 サーモカメラの設置



毎日検温するという意識が身に付きます。
サーマルカメラは、抵抗なく検温ができるというメリットがあります。
機種も様々なものが出回っており、各園の状況に合ったものが選べます。

園庭・トイレなどの手洗い場



蛇口の個数によって距離を調整。この写真の場合は蛇口が4つあるため、両端を使用します。



幼児トイレ手洗い場



医師からのコメント

パーテーションがあることで安心感がありますが、水道水からのしぶきで感染することはないこと、うがいの際に口から出た唾液や手を洗い流した水はすぐに流れ、十分な距離をとっている場合には隣の子にかかる可能性も低いことから、パーテーションがなくとも、十分な距離をとれていれば、感染予防策としては十分です。うがいの際に口から出る唾液がかからないようにし、2人同時にうがいをすることは廃止することが望ましいです。



子どものマスク着用と手指消毒



散歩時、子ども達はマスクを外します。ただし、外部者との接触は控えています。
職員、子ども共に散歩後は入室前に手指消毒を行い、その後は手洗いうがいを行います。



医師からのコメント

生活上での幼児クラスのマスクの着用に関しては、きちんとマスクを着用できないことにより十分に飛沫感染が防げないこと、マスクを多く触ってしまい手が汚染されやすくなること、呼吸機能が未発達なために息苦しく感じる場合があることなどを考慮すると、マスクを常時着用するのは難しいことが多く、マスクを必ず着用するタイミングを園内で決めておくことが望ましいと考えられます。商店街など人混みを通過する時、知らない人と話をする時にはマスク着用しましょう。



遊びの中で



手と手が触れ合わなくても取れる新しいコミュニケーション

食事 パーテーションの使い方



この場合は対角線上に座ります。

もしくは、十字になるようもう一枚パーテーションを使用します。



座って話を聞く際には、子どもたちはマスクをして参加します。パーテーションは、子どもたちが触れて、そこから感染が広がるリスクがあるため逆効果になることもあります。



医師からのコメント

やはり何よりも大事なものは、人と人の距離、手洗い、そして換気です。



ゴミ箱の設置

✖ 悪い例



○ 良い例



ゴミ箱は手で触れる感染リスクを避け、手で開ける蓋ではなく、足で開ける蓋の方が好ましいです。乳児クラス内に設置する場合は、足で開ける蓋にするとケガのリスクが増えるため、蓋は開けてある状態の方が好ましいのですが、いたづらを考慮すると判断が難しいところです。



医師からのコメント

鼻を拭いたティッシュなどからウイルスが浮遊することはありません。蓋に手が触れ、汚染された手で他の場所を触れて汚染する場所を増やしてしまうリスクの方が心配です。ゴミがあふれないよう、こまめに捨てて、袋ごと交換しましょう。



歯科検診



マスク、フェイスシールドの着用をし、感染予防に徹します。

空気清浄機 保育室内



窓が近くになく、
空気が溜りやすい場所に設置します。



事務所



医師からのコメント

空気清浄機は、十分な換気ができていれば新型コロナウイルス予防としては必要ありませんが、日頃からの感染症対策や室内の空気の洗浄としては良いと思います。空気が流れることと、換気が一番大切です。



園内 サーキュレーター



外気を取り入れながら空気を循環させ室内の空気を動かすことで絶大な効果を得ることができます。窓がひとつしかなく換気が一方向だったとしてもサーキュレーションを回すことで空気が循環します。



階段上の吹き抜けにファンを設置。二酸化炭素濃度も低くなります。



空気の溜りやすい場所に設置します。



3.リモートでの行事

就職相談会



横浜市私立保育園こども園園長会で実施したYouTubeでのライブ配信の様子です。

保護者懇談会



職員側



保護者からの見え方

ZOOMを使用して実施しました。「出先からでも参加できる」と保護者から好評でした。年間カリキュラムについて、子ども達の様子について話しをしています。

司会者の前のパーティーション



お馴染みになった大型パーティーションは、来賓にも安心感を届けます。

医師からのコメント

この大きさ、高さのパーティーションでマスクをしているのであれば、十分感染症対策になります。



保護者間パーテーション



マスクをしているのであれば、使用をしなくても問題はないようですが、園内での会話は最小限に留めたいので、その抑止力にはなります。在園児の歌のプレゼントを、他の教室からライブ配信で届けています。

式典での工夫



外から十分な距離を保って、在園児から歌のプレゼントを届けている様子です。歌は前に向かって歌うこと、横を向かないという約束のもと実施します。

その他 意識すべき点

基本的に日頃から留意すべき点

- 空気を動かすという意識を持って園内の空気が常に流れているよう配慮し、十分な換気を行う。
(雨の日や寒い日でも少しは窓を開けておく)
- 飛沫の定義をしっかり持って対応する。
(体液の飛沫から感染する。)
- マスクをしていない時の会話は避ける。
(パーティションがあってもその意識は必要)
- 室内の人口密度を下げる。
- 消毒が必要になる物を減らす。
- ソーシャルディスタンスの確保。(1m~2m)
- 消毒により手が汚染されるリスクも考える。
- 手で触れるものを少なくする。

保育の中での留意すべき点

1. 屋外行事(運動会)

- 会話は近くなければしても良い。
ある程度の距離や声のボリュームの調整が必要。
- 大声での応援などはしぶきが飛ぶため避ける。

2. 屋内行事

- 少人数での実施とし人口密度を下げ、十分に距離を保つことができる空間の中行う。
- 会話を避け、パーティションの使用は控えた方が良い。
(手が触れる可能性のものを減らす)

3. 室内活動

- 歌を歌う際には保育室に合った人数で実施。
(前後左右2mほど距離を取ることができる人数)
どうしても距離が取れない場合には、少しでも感染リスクを下げるためにパーティションを使用する。
その際には、高さや幅があるものを使用。

4. 屋外活動

- こどもは、屋外活動の際は、マスクをしない。
ただし、人混みや他人と会話をする時はマスクをする。
職員はマスクをする。

職員が留意すべき点

- 職員同士が出かける際には、集団感染を避けるためになるべく少人数で、密を避ける。
- 職員が感染してしまった時を想定し、削減された職員で一日の保育を回す訓練をしておいた方が良い。
- ウィルスを持ち込まないという意識が大切。
- 無症状でPCR検査を受ける場合は、過去2日人に会っていない日が望ましい。
- 対角線上に座る。

今後の感染予防対策について

- 保護者の安心感を崩さないよう少しずつ予防の段階を下げていくことも考える。その際には明確な理由も必要。
- パーティションの利用について…
食事の時に、距離が近いのであれば、あった方が良い。
マスクを常時着用し距離をとり会話を控えているのであれば、パーティションの使用はしなくても良い。
スピーチする時は、マスク着用がなく、距離が近いのであれば、大型のパーティションを使用。
安心してもらえる空間づくりへの配慮として、必要であれば設置する。